



平成15年
第2号
7月10日
発行

五段連合審査所感

審査結果の合格者の発表をすると、どっと集まり各々が確認を急ぐ、合格者は早速携帯電話で夫々に喜びの電話するもの、暫くして頭を傾げながら残念だったと電話する人、表情は様々である、これは誰しもが何回か経験する事である。

さて去る5月11日小瀬スポーツ公園武道館における関東地域連合審査であるが、誠に合格率が低くてがっかりした。

共的中して合格しない人が何人もいたこと、片矢は誠にすばらしい射的中しておりながら片矢は見影もない無惨な射で大失敗してしまう。

失敗の多くの原因は離れにある、心の安定が不充分で動揺して、遂、癖のある離れが出る。例えば右手が上がる万歳離れ、しゃくり離れ、的に気を取られた、送り離れ、弓返りをさせようとして、握りが烈しくずり落ちる等、五段に要求している射品が現れず誠に残念に思う。

審査規定の五段の条件は、射型、射術、体配、共に法に適(かな)って射品現れ、精励の功、特に認められる者と記されている。射品は美である、この条件を満たす射品を現せるようにするには、どうしたら良いか。私の経験では、会に入ったなら、詰めあい、伸びあいに徹する、即ち的を忘れて全く的中意識をなくして己と戦う、絶対弓と妥協しないで無心の離れを待つ。

の教えでは、技巧を忘れ、弓を忘れ、己を忘れて果ては我を忘れ、遂に期せずして発に至ると言っている。

振り返って見て、皆さんも合格した時のことを思うと、何もかも分からず、ただ無我夢中で終わったことを経験した事と思う。

これが無欲で無心の離れに通じた事だと再認識して毎日の修練に励んで戴きたい。

(中沢利正 範士八段)

5月審査報告

審査部長 佐野辰己

平成15年5月18日小瀬弓道場で今年初めて県内審査行われ209名が受審された、その結果次の通り報告します。

集計表

| 段級位 | 受審数 | 種別 | 合格者数 |
|-----|-----|----|------|
| 査定 | 78 | 2級 | 4 |
| 査定 | | 1級 | 45 |
| 査定 | | 初段 | 24 |
| 初段 | 32 | | 17 |
| 二段 | 62 | | 29 |
| 三段 | 29 | | 9 |
| 四段 | 8 | | 3 |
| 合計 | 209 | | 131 |

全体では欠員が8名おり、実際の受審者は201名でした。学科問題について、事前に公表してありながら8名の赤点者がいました。主に出題を間違うのが目立ち、高段者で不合格者が3名出たのはもったいない話である。術科について、低

段者の中には競技主体の実践活動の為、入退場に自信のない人が目立ち、今後の課題だと思います。申し込み用紙の書き込み欄に記入もれと間違いが多い、特に合格者の場合、書類の整理が出来ないので支部長及び顧問の先生はもう一度確認して提出してください。

審査のシステム化についてのお願い

審査の申し込み用紙は正確に記入してほしい、当日委員長は1枚1枚と目を通して見ます。

記入については正確且つ読みやすいように書いて下さい。「福」の字一字でも100字の書き方があります、ましてや人の氏名については当て字が多い、パソコンの中には仏教語までは全部書き込まれていないような気がします。

11月までには個人のID番号が決まり、その番号でデータが処理されますが、申し込み用紙は現状のままです、自分の番号を間違えると当日の審査は完全に受けられなくなります。

第23回山梨県中学校弓道選手権大会

平成15年6月

参加者 男子 57名 (団体15チーム)、

女子 92名 (団体20チーム)

男子団体

第1位 18 中櫛形中B 中込恭平・田中拓己・宮島孝明

第2位 17 中増穂中A 荒川雄紀・内藤文哉・依田亮二

第3位 17 中増穂中B 秋山 健・志村友哉・望月勇希

(第2・3位は同中競射による)

男子個人 第1位 12 中 増穂中 秋山 健

第2位 10 中 櫛形中 中込恭平

第3位 7 中 石和中 渡辺成巳

女子団体

第1位 16 中石和中B 米山 愛・水上 舞・山下 葵

第2位 14 中櫛形中B 佐久間穂波・穂坂めぐみ・

佐久間千明

第3位 13 中下吉田中B 柏木はる香・渡辺梨恵・小林由

女子個人 第1位 10 中 石和中 山下 葵

第2位 7 中 下吉田中 小林由佳

第3位 7 中 下吉田中 渡辺絵美

(第2・3位は同中競射による)

吉田高校 優勝 (2年ぶり3回目)

平成15年度第47回関東高校弓道大会
H15・6・6 茨城県武道館弓道場

男子団体予選

甲 工 15中/24射 落選
巨 摩 14中/24射 落選
吉 田 18中/24射 決勝トーナメントへ
葦 崎 11中/24射 落選

団体決勝トーナメント

(各自4射、12射的中制)

1回戦 吉田 7-6 伊勢崎東 (群馬) 勝

2回戦 吉田 7-6 足工大附 (栃木) 勝

準決勝

吉田 9-1 霞ヶ浦 (茨城) 勝

決勝

吉田 9-7 石岡商業 (茨城) 勝

以上の結果、吉田高校 優勝 (2年ぶり3回目)

技能優秀賞 (射形の評価)

団体技能優秀校 吉田高校

個人技能優秀者 渡邊英幸 (吉田高2年)

女子団体予選

3人立、各自8射、24射的中制、16チーム通過

葦 崎 18中/24射 決勝トーナメントへ

北 杜 17中/24射 決勝トーナメントへ

白 根 17中/24射 決勝トーナメントへ

山 梨 8中/24射 落選

団体決勝トーナメント

(各自4射、12射的中制)

1回戦 白根 10-4 吉祥女子 (東京) 勝

葦崎 4-7 土浦第三 (茨城) 負

北杜 8-10 横浜南 (神奈川) 負

2回戦 白根 7-6 土浦第三 勝

準決勝 白根 6-11 横浜南 負

白根高校 第3位入賞

個人選

芦田川久子 (白根高校3年) 第3位 入賞

小池 萌 (葦崎高校3年) 第8位 入賞

技能優秀賞 (射形の評価)

団体技能優秀校 北杜高校

個人技能優秀者 丸茂さやか (北杜高3年)

全日本選手権 関東地区選考会出場者

7月20日 千葉市

男子・河西伊三男・笹本朝樹・塩島健二・望月勝男

(補欠・中込実)

女子・中村秀子

関東地域選抜選手権大会出場者

11月24日 中央道場

称号者・中込実・望月勝男・塩島健二・笹本朝樹

河西伊三男 (補欠・内藤幸雄)

段位・矢野宏幸・河西宏斉・細野晃史・組沢篤

荒井寿一 (補欠・柳本武彦)

全日本女子弓道大会に参加して 土屋敏子

小瀬の武道館で行われたスポーツ事業団主催の初心者弓道教室に参加してから早や5年なろうとしています。「手の内1(一)と言いますよ」と言われ気の遠くなるほど先の事とっておりましたのに半道中来てしまいました。

今年4月半ば、望月先生より第40回全日女子弓道大会(東日本の部)への参加のお誘いを受けました。

6月1日明治神宮武道場至誠館にこぬか雨の降る早朝、先生に引率していただき、初鹿、新田、志村、土屋の4名が向かいました。電車の中で弓の扱いにはじまり、受け付け後の支度の手順、参加者900名の中にあってまごつくことなく準備できるようご指導いただきました。

競技方法は個人競技、種目、近的競技、種別、三段以下、四段以上、称号所有者の部と分かれ、競技方法は予選各自2射行い、皆中者が決勝進出するというのです。広い道場ですから3人立5射場でした。三段以下は338名の参加者の内たった15名が決勝進出いたしました。私共は残念ながら予選敗退いたしました。

普段着に着替えゆっくり決勝の行方を見る事が出来ました。一位二位を決める時に伝わってくる緊張感と、射終わって起こる響き、その中に自分がいる事に感謝いたしました。

徒然草第九十二段「初心の人、二つの矢を持つことなかれ、後の矢を頼みて初めの矢になほざりの心あり、以下略。」渡辺孝三郎先生がこの記述のある事を紹介してくださいました。「まず甲矢をしっかりと射る事」常に吉成寛先生が私共に伝えて下さる心得は、まさにこの日にみたまらしい射手の方々の実践されているものでした。私共は良い成績は残せませんでした。目標が具体的に分かったような気がいたします。それに一歩でも近づけるよう、これからも精進努力しようと思っています。

(編集後記) 今回は中沢先生はじめ、寄稿をしていただき、ありがとうございました。是非、今後も会員の皆様の寄稿をお待ちしております。(新藤)